

会長	常務理事	事務局	事務局長	係長	係
(1)	第22号	保坂	築山社福協	だより	

平成10年4月1日発行  
第22号  
10.4.1  
平山地区社会福祉協議会  
会長 東海林正隆  
(事務局)

# 築山社福協だより

## 築山地区社会福祉協議会公務要点報告

- 平成九年度
- ◎ 四月二十六日 当社協定期総会を築山児童館で開催し、平成八年度事業報告、同決算、平成九年度事業計画、同予算及び役員補充選任について協議決定した。
  - ◎ 五月七日 地区内福祉関係諸団体育成のため、助成金を贈った。
  - ◎ 六月一日 「築山社福協だより」第二十一号発行 地区内全世帯に配布す。
  - ◎ 七月五日 当社協役員会を築山児童館で開催し、敬老会・地域福祉活動について協議した。又、市社福協より地域福祉係長 大塚妙子氏を迎え、市社福協の組織財政問題についての現状説明があった。参加者二十九名
  - ◎ 八月二十日 平成九年度共同募金地区会長、事務担当者会議開催され、事務局長及び事務局長補佐が出席した。
  - ◎ 九月十日 恒例の地区敬老会を檜山コミュニティセンターに於いて開催す。  
対象者 一〇六八名  
出席者 一四九名
  - ◎ 式典終了後、築山小学校児童(四十二名)の演技及び秋田県赤十字芸能奉仕団による民謡・日本舞踊・民謡舞踊でにぎわった。
  - ◎ 欠席者には、枕カバーセットを贈呈した。
  - ◎ 十月一日 共同募金(赤い羽根)運動推進協力(募金額一五九八、一六四四)
  - ◎ 十月三十日 福祉協力員・民生児童委員研修会を児童館にて開催 出席三十七名  
講師 市社福協地域福祉係長 大塚妙子氏「高齢者の介護保険について」
  - ◎ 十一月十日 七十五才以上のひとり暮らし老人及びねたきり老人 計二百名におしほりセットを持参して、安否確認を兼ねた激励訪問を行った。
  - ◎ 十一月二十九日 秋田市六地区社協交流研修会(アキタパークホテル) 五名 出席
  - ◎ 十二月一日 歳末助け合い募金運動(募金額 五五八、三百十円)
  - ◎ 十二月二十五日 母子・父子家庭百四十六名に御歳暮を贈り、激励訪問をした。
  - ◎ 十二月二十三日 市社協主催「地域福祉活動合同研修会」平安閣三十三名 出席
  - ◎ 十二月二十六日 平成九年度赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金実績報告会を老人福祉センターで開催 事務局長・事務局長補佐 出席

## 社協年会費及び各種募金実績

- ◎ 年会費(平成9年6月) 三七万八六〇〇円
  - ◎ 日赤社員増強運動 (平成9年5月) 一七二万六〇〇〇円
  - ◎ 共同募金(平成9年10月) 二五九万八一六四円  
目標の一・二・八九% 歳末たすけあい募金 (平成9年12月) 五五万八三〇〇円
- 以上の集金や募金活動については各町内の会長さんや民生委員の「ご協力をいただき、更には皆さんの深いご理解があったことに感謝いたします。」
- 平成10年度児童館運営委員名簿  
(委員長・副委員長・幹事長・児童厚生員の各委員 長 斎藤 齊)
- 副委員長 東海林正博
- 幹事長 鎌田 敬一
- 児童厚生員 島山 育子
- “ 根市 方江

## 編集後記

◇近頃、どこの会へ出席しても、高齢化・少子化のことばかり。周りの家々でも確かに息子二人は東京と仙台に就職し、家では老夫婦と猫一匹という風景がほとんど。

しかし、こんなデータ集めばかりしていても仕方がないので、なからうか。

この条件でどうやったらいいのか。皆さんで知恵を出し合って生きるしかないと思う。

◇あたり前のことだが、新聞紙面やテレビからは世の中世紀末の様相を呈している。

◇それにしても、今回の長野オリンピックやパラリンピックでは国中が盛り上った。私達にすばらしい感動を与えてくれたものである。

◇正月に初夢を見た。「地区の皆さんから社協への原稿が殺到している」という夢です。そうならば築山地区の福祉活動も一歩前進する気がする。

◇地区内の事でしたら、福祉に限らず何でも結構です。

◇意見・提言をお寄せ下さい。連絡先 編集委員長 野尻 滋 同 委員 松橋 博之

## テーマ：地域福祉活動メニュー選択事業



## 築山地区の皆さんへ

築山地区社福協  
副会長 鈴木 勇 吉

檜山の太平川のとおりで生まれたのに、築山小学校に入れてもらえなかったのは、当時は百石橋通りの東側は目の前に見える築山小学校に通学することができませんでした。今、その築山小学校の卒業式や入学式に招かれて感心するのは、生徒達が実にのびのびと自分達の学校といった気持ちで、自信あふれる態度で式典の進行を楽しんでリードしていると思われて頼もしい気持ちになります。

ところが私は児童館で選挙の立合いをやっていますが、老人達が車椅子に乗ったり、杖をつけて投票に来るのに、若い青年達の棄権が多いのは毎度の事でありませぬ。あの頼もしい子供達は何処へ行ったのでしょうか。築山小学校の生徒が七百人を切るのに敬老会の該当者が千人を超えて四年になります。私も四年前からその中の一人に入り歳をとったなあと感じています。

先日、市内のある地区社会福祉協議会で全戸へアンケートをとったところ、レジャー優先傾向が進んで少

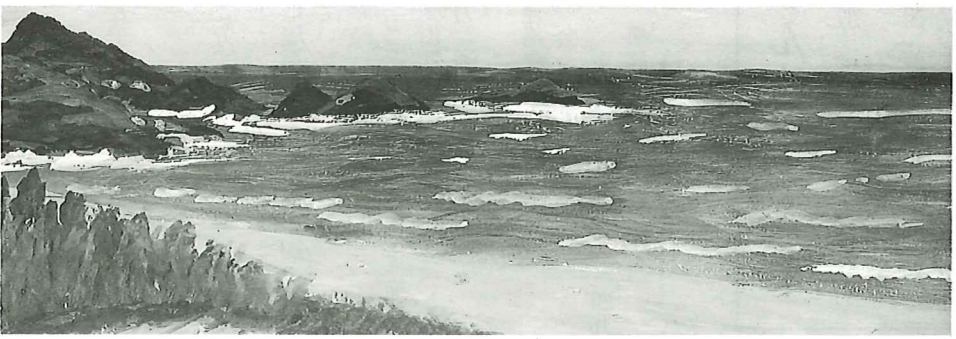
子化はますますひどくなる様だと報道されてきました。

私は当地区の社会福祉協議会の役員になってみて歴代の役員と関係者が宮々と努力してきた現在の人達も頑張っているのに敬意と感謝の気持ちで一ぱいです。

けれども難かしいことはわかりませんが、これからは今までよりもっと事情が変わっていくのではないのでしょうか。介護保険も大きな問題でしょう。私達は運よくというか貧しくとも両親を我が家で看とることができたけれども、自分達はそれも無理の様です。社会福祉はいよいよ本番に突入してきたと思っています。

築山地区では全戸が社会福祉協議会の会費を出していたく様になって、その為に町内会の皆さんにはお手数をわずらわしています。何かのご縁でこの地区に住む様になった私達は皆が力を出し合って「築山に住んでえがったな」と言われるような「まち」にしようではありませんか。

(男鹿半島)



築地岩 松さん(86才)画

# 平成9年度 築山地区敬老会

## — 榎山コミュニティセンター体育館 —

多少お天気心配もありましたが、幸にもおだやかな陽気に恵まれ、参加者には快適な一日であったようです。午前11時30分には全員が揃い、楽しみにしていた一日が始まりました。会次第に従い、乾杯の後祝宴となり、続いて参加者お待ちかねの演芸となりました。築山小学校からは合唱・一輪車の演技・竿灯とかわいらしい子供達の元気な姿が見られ、合唱の前には参加者を励ます小学生のうれしいご挨拶をしていただいた。続いて当社協理事・湊睦子さんの協力で秋田県赤十字芸能奉仕団の洗練された数々の名演技を心ゆくまで堪能したものでした。最後に万才三唱し、来年の再会を約束し散会。



川口境東部  
福田 福男さん (89才)



榎山古川新町  
萬 秋雄さん (86才)



榎山餌刺町  
小松 忠松さん (77才)



築地窪町  
金 マツさん (80才)



榎山寺小路北部  
荒木 茂さん (75才)

- ### 平成9年度 福祉功労者表彰記録
- おめでとうございます。心よりお祝いたします。
- 平成9年4月26日 市民憲章長表彰 (住民活動) 高桑 博 (南通みその町)
  - 平成9年5月20日 市民児協長表彰 佐々木洋吉 (榎山共和町)
  - 平成9年7月10日 秋田市市長表彰 (自治振興) 町内会長 佐藤 哲郎 (榎山南中町) 武田 金三 (榎山本町) 石塚 二郎 (南通 築地) 渡辺 一男 (榎山石塚町) 黒崎 寅雄 (榎山愛宕下) 小武海謹五 (榎山石塚谷合地) 樋渡 久孝 (榎山太田町) 菅原 徳治 (榎山 登町) 小林 泰夫 (榎山大元町) 目賀田 明 (南通 築地) (納税貯蓄) 鈴木 勇吉 (榎山愛宕下)
  - 平成9年11月12日 市社協会長表彰 進藤鐵三郎 (榎山 登町)

日ごとに変容するめまぐるしい社会情勢の中、今最も考えなければいけない課題の一つに、「子ども達をどう健全に育てるか」があると思います。

今の子ども達は、遊び場がない、仲間がないなどで、家の中の生活が多く、遊ぶことには積極的です。子どもにとって遊びは、いろいろな経験を深めるものであり、成長過程には不可欠な極めて大事なものであるのです。

築山児童館では事業の一つとして「児童に健全な遊び場を提供し、その健全育成を図る」ことに力を入れております。

遊びを通して○身心の健全増進を図る○知的な適応能力を高める○社会的な適応能力を高める○情操を豊かにすること、なのです。

現在、利用する児童の指導、保護のため二人の児童厚生員が勤務しており、日曜、祝日、年末年始を除く毎日、正午から午後六時まで、学校が休みの時は午前八時三十分から開館

## 遊びと築山児童館



築山児童館運営委員長  
齋藤 斉

し利用させています。用具不足に悩みながらも、子ども達にけががないように、楽しく仲間づくりができるようにと、献身的に世話をしている姿には頭がさがる思いです。

毎日利用させているほか、月毎にその季節にあったお楽しみ会(すいかわり、縁日、雪中アイスクリーム作り等)も実施しており、喜ばれております。

沢山の子どもが参加する大きな行事の時にはボランティアの児童館世話人が協力してくれており、有難いことと思っております。

築山児童館は、子どもだけでなく、地域の社会教育や社会福祉等の会合にも利用されており、管理や円滑な運営を図るため運営委員の方々のお力添えもいただいております。

やがてくる二十世紀を担う子ども達のために、地域全体で愛情をもって見守り、育てていきたいものです。

### 善意の(ご)寄付

- (平成9年五月一日 平成十年二月二十八日)
- ◎香典返し
    - 榎山登町 伊藤 義和様 十万円 (亡父 義一郎さん)
    - 榎山本町 猪股 正子様 三万円 (亡夫 保さん)
    - 南通みその町 岡田 柳子様 十万円 (亡夫 裕市さん)
    - 榎山石塚町 曾根 昌子様 五万円 (亡夫 九二男さん)
    - 榎山登町 新城 正弘様 十万円 (亡父 正亮さん)
    - 榎山南中町 伊藤 幸雄様 三万円 (亡母 シサさん)
    - 榎山南中町 佐々木とし江様 十万円 (亡夫 武彦さん)
    - 榎山南中町 宮良美智子様 二万円 (亡母 ミヨさん)

### 当協議会顧問 竹下チエさん 逝去

平成9年6月22日現当協議会顧問の竹下チエさんが逝去されました。享年88才

竹下チエさん(勲5等瑞宝章)は、昭和37年当協議会の副会長として就任されこれにちなんで永年にわたり、地域福祉のために活躍されてこられました。地域では人情、人柄の良さに信望も厚く当協議会や老人クラブ等諸団体の顧問として、ご指導者をお願いいたしました。謹んでご冥福をお祈りいたします。合掌

### ◎篤志

- 一万円 東海林正隆様
  - 南部公民館まつり実行委員会様
  - 榎山地区コミセンサール協議会様
  - 吉田喜久治様
  - 城南園親の会様
  - 五千円
  - ご芳志誠にありがとうございます。地域福祉のため有効に活用させていただきます。 ※お願い 「ご香典返し、篤志寄付は地元、築山地区社会福祉協議会へご協力をお願いいたします。
- (連絡先) 会 長 東海林正隆 事務局長 鈴木監三郎